

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2018-13086(P2018-13086A)

【公開日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-003

【出願番号】特願2016-143257(P2016-143257)

【国際特許分類】

F 04 C 18/344 (2006.01)

F 04 C 25/02 (2006.01)

F 04 C 29/02 (2006.01)

【F I】

F 04 C 18/344 3 5 1 U

F 04 C 25/02 L

F 04 C 29/02 3 2 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部にポンプ室が区画されるポンプ部と、前記ポンプ部に連なる筒部と、を有するハウジングと、

所定の回転軸を中心に回転可能であって、前記ポンプ室に配置されるベーンを直径方向に往復動可能に支持するロータ本体と、前記ロータ本体に連なり前記筒部の径方向内側に配置される軸部と、を有するロータと、

前記ポンプ室に潤滑油を供給する第一の油路と、
を備えるベーンポンプであって、

第一の前記油路は、前記筒部を径方向に貫通する第一区間と、前記軸部に配置され前記第一区間の下流側に連なる第二区間と、前記第一区間と前記第二区間との境界に配置され前記ロータの回転に伴って前記油路を周期的に開閉する開閉部と、を有し、

さらに、前記ロータ本体の内部に区画される筒内空間に前記潤滑油を供給する第二の油路を備え、

前記ロータ本体は、筒状の周壁部と、前記周壁部の軸方向一端側の開口を封止し前記軸部に連なる底壁部と、を有し、

前記周壁部は、直径方向に対向して配置され、前記ベーンを保持する一対のロータ溝部を有し、

前記筒内空間において、前記ベーンと前記底壁部との間には隙間が区画されており、

第二の前記油路は前記隙間に開口していることを特徴とするベーンポンプ。

【請求項2】

前記第二区間の下流側に連なり、前記ハウジングと前記ロータとの境界に沿って延在し前記ポンプ室に開口する第三区間を有する請求項1に記載のベーンポンプ。

【請求項3】

前記第三区間の少なくとも一部は、前記ハウジングに配置されている請求項2に記載のベーンポンプ。